

有限会社 三陽鉄工所

継続的な設備投資と人材育成で 高い技術力と信用を獲得

納期
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



複合加工機を主としたライン構築

主な事業内容

精密金属部品加工（複合旋盤加工、マシニングセンタ加工など）

主な取引先（納入先）

エアツールメーカー、
半導体製造装置メーカー、医療機器メーカー

主な製品

エア・電気ツール部品、真空ポンプ、
メカニカルシール部品など

業務内容 技術第一主義で信頼 獲得と多角化を実現

三陽鉄工所の経営理念は「創意・誠意・熱意」のもと信用第一、お客様第一、技術第一。昭和38年に創業し、当初はエアツール（空圧工具）部品を中心に加工を行っていた。近年は医療機器、半導体装置、メカニカルシール、磁気シールメーカーなどを対象に、複雑形状部品の加工を手がけている。ステンレスはもちろん、チタン・ハステロイなどの難削材加工の実績も豊富にある。

また、高い技術力によって、お客様の信頼を獲得している。平成21年のリーマン・ショックを契機に、取引先の多角化を図る。10年足らずで、一業種への依存体制から脱却を実現したのは、獲得した技術力が評価されてのものだ。

強み 高生産性設備の採用と 技術力で好循環を実現

多業種の顧客を対象に、多様な材料・形状の部品加工を提供している。高い生産性が実現できる反面、機械加工やプログラム入力、技術・知識の習得、段取り作業の時間・労力の増加などの課題から導入が容易ではない、複合

加工機を主としたラインを構築する。省面積・省時間、品質向上を実現し、限りある工場面積を最大限に生かすことが狙いだ。

また、同社では、現場中心の改善活動を奨励している。培われた改善ノウハウや技術力と設備ラインナップが、さらなる仕事を呼ぶ好循環を実現している。

技術向上 設備投資と若手教育に より高い技術力を保持

積極的な設備投資による技術力向上には、設備更新の継続が重要だ。平成30年と令和元年には、中小企業庁の「ものづくり補助金」の採択を受けてマシニングセンタとCNC（コンピュータ数値制御）複合旋盤を導入。これらの設備は、主に需要が増え続ける医療機器部品や半導体装置部品の加工に活用され、生産性の向上に貢献している。今年も新設備導入を計画し、さらなる設備強化を図る。

社員の育成は、汎用旋盤を使った旋盤の基本動作の知識習得を重視し、工場長や課長が中心となり、若手へのOJTを実施。基礎知識を身につけることが、スキルアップに重要と考えて技術教育に力を入れている。

社長あいさつ



代表取締役
数本 博信さん

企業というのは、実に多くの方々の力によって支えられています。厳しくも優しいご意見や、皆様の温かなご支援、また自慢の社員一人ひとりの頑張りが企業のしっかりとした柱を作り、我々をより良い方向へと成長させます。感謝を忘れず、皆でともに発展していきたいと考えています。

主な保有設備

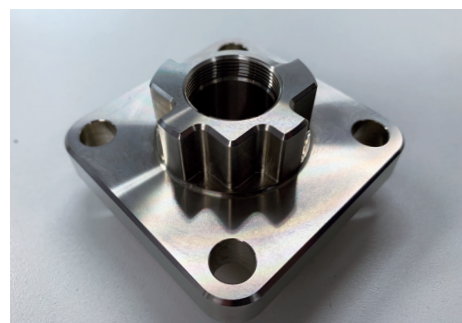
- NZX2000T2Y 8インチ・2サドル
DMG森精機製 3台
- NLX2500Y 10インチ
DMG森精機製 1台
- NLX2000SY 6インチ
DMG森精機製 3台
- ZT1500Y 8インチ・2サドル
DMG森精機製 1台
- WT250 6インチ・2サドル
中村留精密工業製 1台

大阪
03

住 所／〒577-0027
東大阪市
新家中町2-14
T E L／06-6787-8711
F A X／06-6787-8712
創 業／昭和38年5月
設 立／昭和38年5月
資本金／860万円
従業員／19名



複合旋盤 NZX2000T2Y



加工部品例（ステンレス）



<https://www.sanyo-mf.co.jp/>